

FRIENDS OF GREEN

No.77 1992年2月発行



第34回全国印刷緑友会沖縄大会

白井会長挨拶・沖縄大会宮城実行委員長挨拶

第34回沖縄大会報告・常任幹事会議事録

「着眼と戦略」お客様第一主義・西川誠也氏レポート

 全国印刷緑友会

第34回全国印刷緑友会沖縄大会

Okinawa A GREAT MEETING



全国印刷緑友会会長
白井 秀幸

全国印刷緑友会の皆さん、新年おめでとうございます。お元気で希望に満ちた新年を迎えられたこととお喜び申し上げます。

昨年は札幌総会において、第九代の会長をお引き受けし、私のような弱輩でもできることを一生懸命やらせていただきました。お蔭様で札幌総会、沖縄大会と多くのご参加をいただき、また緑友会の協調が一步進んだものと心より御礼申し上げます。

沖縄大会では、我々自らがイノベーションしなければならぬと大いに語り合っていました。また、中村征夫先生のご講演から経済活動と自然との調和、自然を大切にしていかなければならないことも学びました。

沖縄印刷若潮会の皆さんの、あの南国の暑さにも似た情熱あふれるおもてなしは忘れることができなない思い出となるでしょう。心よ

り御礼を申し上げます。

さて、湾岸戦争も一段落し、ほっとする間もなく、急成長のバブルが崩壊、昨夏以降不況が漸次強まってまいりました。本年は社会変革と不況の二つの波を乗り越えていかなばならない年になりました。

今こそ、緑友仲間の英知を集め、新しい進路を見つけていくときです。

この二月の岐阜セミナーにおいては、「ネットワーク作り」をテーマに、我々の進むべき道を見出す糸口がつかめないか、ご討議をお願いする次第です。多数のご参加をお待ち申し上げます。

最後に、平成四年が皆様にとって、健康でご活躍できる年でありませうお祈り申し上げます。

岐阜セミナーでお逢いできることを楽しみにしております。

平成三年十月十八日、亜熱帯の島・沖縄において三三〇余名（登録同判者含む三七三名）の全国緑友の仲間が参集し沖縄大会が盛大に開催されました。

白井会長初め常任幹事、各グループ長、他会員多数の熱き友情とご支援に対し沖縄県印刷若潮会会員一同、心より感謝申し上げます。

さて大会は、心配された台風もうまく大会開催の前後の週に襲来してくれ、さわやかな秋空のもとで、迎えることができました。二時からの式典、講演会、そして「自己革新を図ろう」のテーマでゆんたくタイムと続きました。屋外プールサイドで南国の夕陽を背に受けて記念撮影の後、威勢のいいエイサー踊りのオープニングで懇親会が開宴しました。南国の開放的な雰囲気の中で会員同志大いに友情を深め合い、又沖縄ならではのアトラクション、泡盛、料理も大いに満喫していただけたものと確信しております。フィナーレの「お手々つないで」の大合唱は舞台上

からプールを囲んでの緑友会史上最大の「お・い・き・な・輪（沖縄）」ではなかったでしょうか。特にうれしい誤算でしたのは予定していた酒（ウィスキー、泡盛）が三〇分程で底をつき追加くで最終的には二倍の量を飲み干した事です。その勢いがナイトの夜を徹してのフィーバードりにつながり全国各グループ選抜の酒豪にとってはこの世の楽園ではなかったかと思えます。

翌十九日のオブショナルツアー（一四〇名余参加）は、南部戦跡巡り、海洋博記念公園リゾート、無人島、ゴルフの四コースでそれぞれの沖縄の良さを体感してもらったことと思えます。

本大会のテーマ「いちやりばちよーでーinお・い・き・な・輪」(そこに集うものは皆兄弟、仲間だ：沖縄で友情の大きな輪をつくろう)のもと緑友の出会い、触れ合いの場づくりができたかどうか多々疑問な点もあつたかと思えますが、一応及第点はあつたのではないかと自負しております。他に何かと不備

な点、ご迷惑をおかけした点は緑友の寛大な心にてお許し下さいますようお願い申し上げます。

本大会に向けての活動を顧みますと、金沢大会（平成元年第三十二回）でお引き受けしてから約二年ありましたが、本格的な活動を開始したのは直前三ヶ月前からでした。名古屋大会（第三十三回）

へPR部隊として参加した18名のメンバーが中心となり、会員一人一人が良く頑張ってくれました。

この大きな経験を活かし当会員一同、今後の緑友会又当会の活性化と発展のために、活動を充実させていきたいと思えます。

最後に沖縄大会の開催に向けて、物心両面からご協力頂きました皆様にご心より感謝申し上げます。

そして、九月の茨城大会に一人でも多くの方が参加しますように、お願い申し上げます。ありがとうございました。

第34回全国印刷緑友会 沖縄大会を終えて



沖縄県印刷若潮会
全国緑友会沖縄大会
実行委員長 宮城 通治



● 式典で挨拶する宮城通治実行委員長



● 白井会長



● 二来賓

第三十四回全国印刷緑友会沖縄大会は沖縄県印刷若潮会の主管により、平成三年十月十八日、十九日の両日、総勢三七三名が参加して、沖縄グランドキャッスルで開かれた。

沖縄大会は「いちやりばちよーでーinおきな輪」のスローガンのもと、まず式典は午後一時から登録受付、そして二時より始まり君が代斉唱、全国緑友会綱領唱和宮城通治大会実行委員長の挨拶、続いて白井会長及び来賓の挨拶で式典を終了し、三時より水中写真家の中村征夫氏が「海をあるく」と題して約一時間半講演された。

四時半よりデイスカッション「ゆんたくタイム」に熱心に又、有益な場となった。

その後、記念撮影となり、六時よりプールサイドにおいて懇親会が盛大に開催された。

翌十九日は午前六時半より八時まで常任幹事・グループ長会議が行われた。このあと、オブションアルツアーに申込み者はそれぞれ参加した。沖縄の島々を取り巻く珊瑚礁の海は目の醒めるようなエメラルドグリーンに輝き、南国の太陽のもとで印刷業界の明るい将来について大いに語り合いました。親睦を深めた二日間であった。主管の若潮会の皆様ご苦労さまでした。



● 沖縄グランドキャッスルにて記念撮影



● 懇親会にて 若潮会のメンバー



● グループディスカッション「ゆんたくタイム」



● 記念講演「海をあるく」中村征夫氏

覚えていらつしやいますか。大阪セミナーで受けたシヨックを、ジャパンライフシステムの谷口正和先生——非常に早口で、通常の3倍位の量を講演されてました。その谷口先生が今度、プレジデント社から『着眼と戦略』お客様第一主義』を出版されました。またまた、モヤモヤしていた頭がスッキリしたと申しましょうか、まさに二重丸の参考書、ヒント集の出現です。「イノベーション作り」の一環として一読をおすすめします。

特にこの本の序にあたる『お客様』だけがある』がすごい。ニュー・カスタマー・オリエンテッド（新・個人顧客第一主義）を高らかに謳っているのですが、ニュー「倉イズム」としてとらえてしまいました。ところで、私達が何気なく使用しているClientは間違っていないでしょうか。基本的には「依頼人」と訳すべきで、感謝の意を

込めた言い方はCustomerとなるのではないのでしょうか。それはさておきまして、カスタマー・オリエンテッドの原点は「自分が自分のお客様である」ということつまり我々は初めて生き甲斐「自己実現」というものを生きるようになって来たということ。「本当にそう思っただけでいいのですか」という言葉が本気への問いかけ「である」といって共感をネットワーク化し、集い合う。だから、ファースト・カスタマーは「本気への問いかけ」を共有する「共に働く仲間」であるわけです。

「本気でこのことをやり遂げた」という願いは、どの企業にある。独自なる特徴を形成、この共鳴のファースト・カスタマーは共に働く仲間であり、セカンド・カスタマーがいわゆる顧客であると位置付けられます。

＝イノベーション・ブック＝

【着眼と戦略】お客様第一主義

Customer Oriented

谷口 正和 著
プレジデント社
1400円

それゆえに、ニュー・カスタマーが発信する情報を真摯に受け止める「受信戦争」とでもいべき環境の中、我々は顧客を奪い合うように厳しく存在していると規定、情報と手法の類似化の中で、我々はモノは最大のスケール・メリットによって低価格化として提供せざるを得ないという極端な競争原理に追い込まれていると指摘しています。

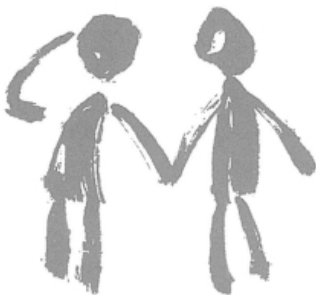
我々はおお客様の地球志向という大変な変化を最大のチャンスに変える最高の時に遭遇しているのだ。研究と学習を内在させ、磨き続けている集団を指せと言っている。顧客は常に成長・進化する生き物としての顧客から学び続ける着眼点として、次の6つの戦略をあげています。

- 1、リピーティング戦略
- 2、記念日戦略
- 3、地球戦略

- 4、心理戦略
- 5、文化戦略
- 6、メディア戦略

その具体的なテーマを30あげ、我々の企画・提案のヒントにしてほしいと教えてくれます。

「我々はまさに大いなる変化の中にいる。それは大いなるチャンスと同義語だ。お客様第一主義さえ見失わなければ、チャンスは無限にある。」この言葉を信じ、あなたも顧客学校の生徒になってみませんか。



第1回常任幹事会開催される

日時/平成3年7月12日(金)
12:30~
場所/千代田マシナリー

■議 題

(報告事項)

1. 沖縄大会について (沖縄県印刷若潮会 糸洲 昇氏)
2. 岐阜セミナーについて (イベント担当 安藤氏と岡田実行委員長)
3. 広島総会について (ブロック幹事 藤井氏)
4. その他

(審議事項)

1. 「イノベーション作り」の具体策
2. 「ネットワーク作り」の具体策
3. 「マーケット作り」の具体策
4. 長崎県雲仙岳義援金について
5. 未加入グループへの勧誘策
6. その他



第2回常任幹事会開催される

日時/平成3年11月10日(日)
8:30~
場所/くれべ大分

■議 題

(報告事項)

1. 沖縄大会報告 (イベント幹事/糸洲氏)
2. 岐阜セミナー準備状況 (イベント幹事/安藤氏)
3. 広島総大 (イベント幹事/藤井氏)
4. 茨城大会 (前会長/城戸氏)
5. その他

(審議事項)

1. 次期イベントの開催地について
2. 「ネットワーク作り」について
3. 会員名簿作成について
4. 「マーケット作り」について
5. 未加入グループの加入促進
6. その他

船井章雄 (流通の神学) 氏の講演の中で

購入した本にありまして

6月5日 毎朝の二文字がっつり

新しい気持ちでスタートにあり

行動しようと思えます。

① 今の気持ちと忘れない

② 必ずメモをとる

③ 将来とも若いころ

④ 夢をもちつづける

⑤ まず行動

⑥ どんなことにも興味を持ち吸収していく

⑦ よい人相になる

⑧ マクロに考える

⑨ 全てのことを大事にする

⑩ 理性的に考えて行動する

⑪ 迷わずにはいらない

⑫ 辞書を引きつづけておく

⑬ 意志決定や行動は必ずビジネスパートナー

⑭ たえず前向きに

⑮ 秘密を少なくする

⑯ 本を読む

⑰ 「正しい判断」ではなく「相対的納得のいい判断」をする

⑱ 「ねばならない」に挑戦する

⑲ オペラのことは肯定する

⑳ Yes, Noを はっきりさせる

㉑ 素直になる

㉒ プラス発想

㉓ 世のため人のため

㉔ 時間を守る

㉕ 大きな声で話す

㉖ 失手を守る

㉗ 新向を語る

㉘ 基本をしっかりと語る

㉙ 上限の壁を作らない

㉚ ハイの逆事を忘れない

㉛ 何でもいい一着になる

㉜ 約束を守る

㉝ 数値に強くなる

㉞ 自分に投資する

⑳ 電話をなくしていく

㉑ 話を聞く態度にも気がつける

㉒ 後片づけをきちっとする

㉓ 不平、不満をいっしょに

11人上の桌です。この中で特に、この一年向
10人上を目指したい

卓を以下の五項目にまとめました

① 大事にして

② 約束は必ず守る

③ 学ぶことを続ける

④ 思いやりを続ける

⑤ 後片づけをきちっとする

よい意味でこの一年向、何もありません

上の五つのことを守りながら頑張る
11人上だと思います。

91.7.1
船井章雄



全国印刷緑友会

FRIENDS OF GREEN

FRIENDS OF GREEN **No.77**

〒920-03 金沢市打木町東365

TEL.0762(40)3700

発行人 白井秀幸(金沢青年印刷人クラブ)

編集人 千代田印刷人新世会
